

旭市水道事業ビジョン（素案）及び
旭市水道耐震化計画（素案）への意見等に対する市の回答

【会議名】 旭市水道事業運営協議会

【開催日】 令和7年7月28日（月）

【その他】 パブリックコメントの実施

（期間） 令和7年8月1日（金）～14日（木）

（意見） 提出された意見なし

No.	意 見	回 答
1	耐震化計画の中で、配水池の耐震化の現状と令和16年度の数値が全く同じだが、何か理由は。	旭配水場のポンプ圧送区域の縮減を図るため、3地域の配水区域の見直しを行った後に、旭の配水池の検討を行います。そのため令和16年度までは、進まないことになっています。
2	令和12年度に料金改定することは、財政状況から仕方ないことだと思うが、30%はかなり大きい。 基本料金と超過料金があると思う両方なのか。	現状のままでは、令和12年度に赤字に転落するということ。また、料金収入で出た利益は、更新費用の足りない分などに充てていますが、この面でも令和13年度には足らなくなる見込みであり、この補填財源を維持してくことも踏まえた上での30%です。 改定は、基本料金と超過料金の一体で見込んでいます。 ただし、このビジョンの見込みの中では30%の改定が必要となったということで、決定したということではありません。実際の料金改定については、改めて試算をしまして、協議会などにお諮りしていくものがあります。
3	投資・財政計画で令和6年度、令和7年度において推計と記載されているが、決算見込み、予算値ではないか。	決算が9月議会での認定のため推計という形、令和7年度の推計は、予算値で掲載をさせていただいたところ。パブリックコメント等では、表記を変えます。 （パブリックコメント時） 令和6年度：決算見込み 令和7年度：予算値
4	賃金上昇率1%を見込むが、人件費が上がる中、職員給与が少なくて大丈夫か。	内閣府の会議の中で、1%の見込みというのが出ており、そちらで推計しました。

5	笹川浄水場からの水質対策がなされている、良質である PR を、何かビジョンに示せないか。	安心して美味しく飲める水道水の供給というところで、水質検査の実施、東総広域水道企業団との連携というところで、水質検査の実施、水安全計画の策定について記載しております。 ※ビジョン 24 ページ
6	第 6 章について、下から 5 行目あたり、フォローアップを実施していく…の後に、今後も…繰り返すとあり、後述の部分はいいらないのではと思うが。	指摘のとおり、重複とされますので、もう一度検討します。 (修正内容) 別添のとおり
7	投資・財政計画で物価上昇率はどの位見ているか。	0.9%で、前段で申し上げた内閣府の会議の中での推計値から採用しました。
8	東総広域水道企業団では、特殊な経過を行っていることを伺って、もっと安全、安心の部分一般市民に PR していただけたらと思う。	第三次旭市総合戦略の中でも、安全、安心の水の供給を大前提にしていますので、今後 PR して行きます。
9	埼玉県八潮市で、老朽化による下水道管の破損による道路陥没事故がありました。道路下にある下水道管は、耐震化が必要な状況だと思うが、そういう管はあるか。	八潮市のような大きな管、所要の年数が経過しているものはなく、現在あのような陥没事故ありません。処理施設の方の耐震化が課題になっています。管理については、日常的に点検や巡回をしております。
10	耐震化計画の耐震化・更新事業のスケジュールで、年平均 11 億円の工事を行いますとあるが財源は何か。 耐震化事業で、国の補助金は付くのか。	料金収入と、国からの補助金、企業債などになります。

(別添)

旭市水道事業長期計画 水道事業ビジョン(素案) 第6章フォローアップ(42ページ) 新旧対照表

修正前	修正後
行政改革や経営効率化で事業運営に大きな影響を及ぼす要因が生じることも考えられ、今後も必要に応じた見直しなどのフォローアップを実施していくことが重要です。 今後も Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返すことで各種施策の推進や改善を図るほか、施策の進捗状況や社会情勢を踏まえた有効性の検証など、必要に応じた見直しを進めていきます。	行政改革や経営効率化で事業運営に大きな影響を及ぼす要因が生じることも考えられることから必要に応じた見直しなどのフォローアップを実施していくことが重要となります。 そのため、今後も Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返すことで各種施策の推進や改善を図るほか、施策の進捗状況や社会情勢を踏まえた有効性の検証など、必要に応じた見直しを進めていきます。